

# 我が国における公的統計に関する取組

総務省政策統括官（統計基準担当）

田家 修



**MIC**

Ministry of Internal Affairs and  
Communications

# 本日の内容

---

1. 政策統括官室(統計基準担当)の役割
2. 公的統計の整備についての基本的な考え方
3. 「公的統計の整備に関する基本的な計画」について
4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組
5. 統計分野における国際協力と国際貢献

# 1. 政策統括官室(統計基準担当)の役割

# 1. 政策統括官室(統計基準担当)の役割

## 政策統括官室のミッション

1

統計作成府省間の調整を通じ、公的統計の整合性と一貫性の確保を図ることによって、日本の統計の改善・発展を推進すること

2

行政運営や国民の諸活動の基礎となる情報として統計データの提供を推進し、経済の発展と国民生活の向上に寄与すること

- これらのミッションを達成するために、統計のユーザーや様々な組織と協力しています
- 統計委員会はこのプロセスにおいて不可欠な役割を果たしています



## 2. 公的統計の整備に関する基本的な考え方

## 2. 公的統計の整備に関する基本的な考え方

---

### 統計法 2007年に全面改正

- 改正によって、公的統計が国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報であると位置付けられました
- 公的統計は以下の事項に寄与するという目的が明確化
  - ①国民経済の発展
  - ②国民生活の向上に寄与すること

● 国連の「公的統計の基本原則」の主旨も取り入れたもの

## 2. 公的統計の整備に関する基本的な考え方

---

“Statistics for all”

- 日本の公的統計における基本的な考え方
- 国連「統計の日」の標語  
” Better Data, Better Lives”  
とも共通するもの

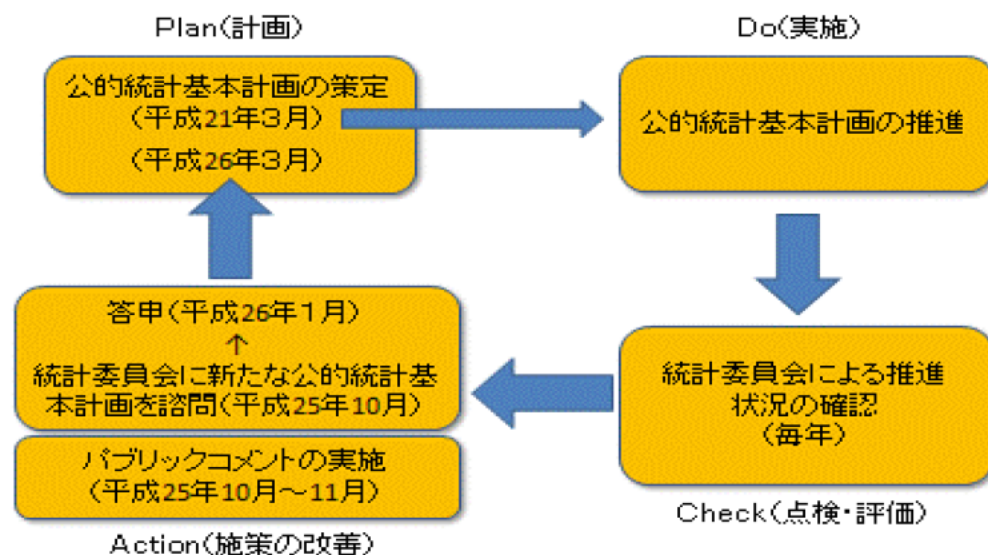


### 3. 「公的統計の整備に関する基本的な計画」について

### 3. 「公的統計の整備に関する基本的な計画」について

#### 「公的統計の整備に関する基本的な計画」

- 統計法では、公的統計の整備に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、政府は閣議により「公的統計の整備に関する基本的な計画」を決定することとされています









統計委員会での審議の様子

### 3. 「公的統計の整備に関する基本的な計画」について

#### 「公的統計の整備に関する基本的な計画」

- 基本計画における施策展開に当たっての基本方針
  - ①統計相互の整合性の確保・向上をはかること
  - ②国際比較可能性の確保・向上をはかること
  - ③経済社会の環境変化への的確な対応をとること 等
- これらの基本方針に基づく具体的施策として  
「経済関連統計など、各分野別の統計の個別的改善」等  
107個の取組事項があり、これらを推進しています



## 4. 公的統計の普及と

### 統計能力の向上に関する取組

## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

### “Statistics with all”

- 日本では伝統的に、統計の重要性に対する国民の理解を深め、統計調査への協力を推進する取組を、「Statistics with all」の考え方を重視し、行ってきました
- 統計調査員の方々の大変な努力と国民の統計調査への協力のおかげで、日本の統計調査は成り立っています



政府統計

#### 「公的統計のロゴタイプ」

(平成24年各府省統計主観部局長等会議申合せ決定)

- 国が行う統計調査の調査票に印字されています
- このロゴタイプは以下の内容を保証しています
  - ①当該調査が国の統計調査であること
  - ②秘密の保護に万全を期していること

## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

### ● 具体的な取組事例

#### 1 統計に関する広報行事

「統計の日」を中心とした広報行事

- (1) 全国統計大会
- (2) 統計シンポジウム
- (3) 統計グラフ全国コンクール

#### 2 統計リテラシー向上を目指した教育関係者向けの研修

統計リテラシー向上を目指した教育関係者向け研修

## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

### 「統計の日」を中心とした広報行事

- 毎年10月18日を「統計の日」と制定
- この日を中心に、国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者や、広く国民を巻き込んで、様々な行事を行っています

今年度の  
「統計の日」ポスター



## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

---

### 全国統計大会

- ・ 長年統計調査員として活躍された方々に対する各省大臣表彰
- ・ 統計グラフ全国コンクール入賞者の表彰
- ・ 「統計の日」標語入選者表彰
- ・ 統計の進歩に貢献された方々への大内賞の授与

等を行っています

## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

### 全国統計大会 -各省大臣表彰-





## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

### 全国統計大会 -統計グラフ全国コンクール入賞者 表彰-



## 4. Statistical dissemination and statistical literacy raising

---

### 全国統計大会

平成27年度「統計の日」の標語

「統計を 今に活かして 未来につなぐ」

“Statistics serves now,  
and bridge to the better future”



## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

### 統計シンポジウム

- 今年度テーマ：「平成27年国勢調査の結果データの利活用」



## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

### 「統計グラフ全国コンクール」

- 総務省・各地方公共団体と協力し、公益財団法人「シンフォニカ（統計情報研究開発センター）」が行っています
- 統計の活用や作成の重要性について啓発するとともに、統計的に考えることや統計へのよりよい理解を促進することを目的としています
- 平成27年度は約2万6千作品の応募がありました

本日、会場前にコンクールの優秀作品を  
展示しておりますので、どうぞご覧下さい

## 4. 公的統計の普及と統計能力の向上に関する取組

---

### 統計指導者講習会

- 児童・生徒の統計教育に携わる教師等を対象として、統計の重要性を理解し、実践的指導方法を習得してもらうために開催しています
- 平成27年度は東京にて2回、地方にて5回実施
- 今年度中には、統計データを用いた分析と統計調査の重要性についての理解を深める新たな教材を開発予定



統計指導者講習会





## 5. 統計分野における国際協力と国際貢献

# 5. 統計分野における国際協力と国際貢献



# 5. 統計分野における国際協力と国際貢献

## 国連アジア太平洋統計研修所 (UNSIAP)

### 1. 位置付け

国連における  
唯一の政府職員向け統計研修専門機関

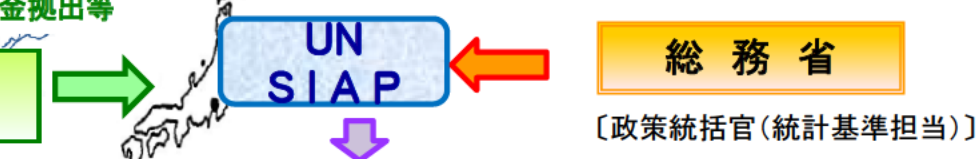


SIAPを通じて、**世界に誇る精度と信頼度**を有している我が国の統計制度を各国に紹介することで、各国の統計の発展に大きく貢献



### 2. 研修実績、我が国(総務省)による協力内容

研修生派遣、  
分担金拠出等



#### 研修コース〔年間約 20コース〕

- ・包括的な成長のための政策を支援するモニタリング指標の作成及び統計分析コース(中級:2か月 定員30人)
  - ・ミレニアム開発目標(MDGs)指標に係る統計の作成能力の向上コース(基礎:4か月 定員30人)
- のほか、「ジェンダー統計」、「国民経済計算」、「人口動態統計」など多彩な研修コースを実施

#### ESCAP域内の統計研修の調整と各国・機関間の連携強化のための取組

修了者数 130か国・地域から14,789人(平成27年3月31日までの累計)

修了者の中から各国政府幹部(副大臣・次官級、統計局長等)を輩出: インドネシア農務省副大臣 ヘリアワン氏、タイ情報技術・通信省次官、カンボジア計画省次官補、ブータン、ベトナム、フィジーなど各国の統計局長等、61人

#### 国内外からの高い評価

- ・第7回経協インフラ戦略会議(平成25年11月)において、麻生副総理(財務大臣)は、**日本国政府によるSIAPを通じた国際貢献を高く評価**
- ・第71回ESCAP総会(平成27年5月)において、SIAPによる**研修の重要性等を評価**するとともに、**日本国政府のSIAPに対する支援に感謝**





UNSIAPでの研修の様子

## 5. 統計分野における国際協力と国際貢献

### 総務省の協力とUNSIAPに期待される役割

#### ● 総務省による協力内容

##### 1. 現金寄与（分担金）

:平成27年度は、約1.9億円

(UNSIAPに対する加盟国等からの現金寄与総額のうち約8割)

##### 2. 現物寄与（建物・施設等の提供等）

:平成27年度は、約1.1億円

##### 3. 役務の提供（総務省職員の派遣）

:総務省職員10名を派遣（平成27年12月現在）

## 5. 統計分野における国際協力と国際貢献

### 統計を取り巻く状況と今後UNSIAPに期待される役割

- 平成27年9月、「国連持続可能な開発サミット」において、国連の新たな開発目標である「ポスト2015年開発アジェンダ（SDGs）」（現行の開発目標（MDGs）を引き継ぐもの）が採択されました

※SDGsのゴール及びターゲット数はMDGsより増加  
（ゴール：8→17、ターゲット：21→169）

- 現在、国連統計委員会において、SDGsの進捗をモニタリングするための指標を検討中です
- 今後、世界的に統計能力構築支援の重要性が高まっていくでしょう
- 総務省としても、UNSIAPへの協力の継続・強化を通じて、世界の統計能力向上に貢献してまいります

## おわりに

---

- 我が国は、公的統計の整備・改善・発展と、国内外の統計能力向上のために、様々な取組を行ってまいりました
- 今後とも、統計関係者の連携を密にし、「より良い統計」が「未来のより良い生活」をもたらすよう、また、統計が全ての人に活用され、全ての人とともにその身近にあるようにすることを目指し、可能な限りの努力を行ってまいります

“Better Statistics”



“Better Lives”



ご静聴ありがとうございました